

聖心女子大学 大学院 文学研究科 < 修士課程 >

英語英文学専攻 (専門科目)

2020(令和2)年度 (9月期) 入学試験問題

I. Translate the underlined passages ① and ② into Japanese. (20 points)

(Roger Pulvers, "Half the World's People are Bilingual—But How Many Japanese?"
Dec. 12, 2010, *The Japan Times*, online edition による)

II. Translate the underlined passages ①, ②, and ③ into English. (20 points)

(*BBC News Japan*, 2018年6月27日の記事「『修復』で彫刻が台無しに スペインの
教会で」による)

III. Answer either A or B. (60 points)

[A] Choose three of the following items and explain them in English. For one of the three items, you should write at least one page. For the other two, write at least half a page each.

- (1) e. e. cummings
- (2) frame narrative
- (3) game and literature
- (4) Katherine Mansfield
- (5) magic realism
- (6) marginalia
- (7) *Pericles*
- (8) refugee literature
- (9) *Tess of the d'Urbervilles*
- (10) *The Invisible Translator*
- (11) "The Mark on the Wall"
- (12) Tim O'Brien

[B] Choose three of the following items and explain them in English. For one of the three items, you should write at least one page. For the other two, write at least half a page each.

- (1) aspiration
- (2) contrastive analysis
- (3) suprasegmentals
- (4) word stress and suffixes
- (5) complement and adjunct
- (6) binary branching
- (7) quantifier
- (8) principle of end focus
- (9) word order parameter
- (10) awareness-raising
- (11) uptake
- (12) illocutionary force

聖心女子大学 大学院 文学研究科 < 修士課程 >

日本語日本文学専攻 (英語)

2020(令和2)年度 (9月期) 入学試験問題

以下の英文は、日本の文部科学省 (MEXT) における『文部科学白書』(2017年)の一部です。これを読んで下記の問題に答えなさい。

Work Style Reform of Schools 学校における働き方改革

【問1】下線部①をわかりやすい日本語にしなさい。

【問2】下線②Survey of Teachers Working Conditions について、この調査が (1) 調べた期間を日本語で記しなさい。(2) 調査の対象者を日本語で説明しなさい。

【問3】下線③について、校長の勤務時間は具体的にどれくらい増えたか、小学校と中学校に分けて日本語で説明しなさい。

【問4】下線④をわかりやすい日本語にしなさい。

出典

文部科学省

2017年 文部科学白書 (英文)

Special Feature 2 : Work Style Reform of Schools

聖心女子大学 大学院 文学研究科 《修士課程》

日本語日本文学専攻 (専門科目)

二〇二〇 (令和二) 年度 (九月期) 入学試験問題

◎ 次の分野Ⅰ～Ⅳの十六問のうちから、二分野以上にわたり五問を選び、解答しなさい。

○ 解答用紙は、一問ずつ別紙を用いること。

○ 解答用紙冒頭の□内に、次の例のように、分野番号と問題番号を記すこと。

(例)

Ⅱ	⑤
---	---

分野Ⅰ

- ① 山上憶良について知るところを述べなさい。
- ② 『栄花物語』について知るところを述べなさい。
- ③ 世阿弥について知るところを述べなさい。
- ④ 『湖月抄』について知るところを述べなさい。

分野Ⅱ

- ⑤ 永井荷風について知るところを述べなさい。
- ⑥ 樋口一葉について知るところを述べなさい。
- ⑦ 石川啄木の短歌について論じなさい。
- ⑧ 社会におけるマイノリティの人々を描いた近代・現代の文学作品を取り上げ、それについて論じなさい。

分野Ⅲ

- ⑨ 日本語の語彙の種類と、その歴史について、概略を説明しなさい。
- ⑩ 平仮名の成立について、その概略を述べなさい。
- ⑪ 現代日本語のアスペクトについて、具体例を挙げながら説明しなさい。
- ⑫ 撥音と促音について、具体例を挙げながら説明しなさい。

分野Ⅳ

- ⑬ 教授法、オーディオリンガルメソッドの長所と短所を説明しなさい。
- ⑭ 構造シラバスと話題シラバスの違いを説明しなさい。
- ⑮ カナールとスウェインによるコミュニケーションコンピテンスの4領域を説明しなさい。
- ⑯ クラッシェンの第二言語習得理論(5つの仮説)のうちから3つを説明しなさい。

聖心女子大学 大学院 文学研究科 < 博士前期課程 >

社会文化学専攻 外国語 (英語)

2020(令和2)年度 (9月期) 入学試験問題

次の英文 (2019年3月に開催された国際女性会議におけるマララ・ユスフザイ氏による基調講演の一部抜粋) を和訳しなさい。

出典 : Fifth World Assembly for Women: WAW! 2019/ Women 20 (W20),
Statement by Malala Yousafzai (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/00461883.pdf>) .

聖心女子大学 大学院 文学研究科 < 博士前期課程 >

社会文化学専攻 (専門科目)

2020(令和2)年度 (9月期) 入学試験問題

資料Aおよび資料Bを読み、以下の問いに答えなさい。

- 問1 資料Aの傍線部①に関して、何を「垣間見せる」ことがなぜ重要であるのか、筆者の考えを200～300字で説明しなさい。
- 問2 資料Aの傍線部②に関して、物語の不在がひとを苦しめるのはなぜか、筆者の考えを200～300字で説明しなさい。
- 問3 資料Aの最後にある「言葉は世界をつくる。言葉はわれわれの生きる世界に輪郭と意味を与える」という考えを参考にしながら、資料Bにある「アジアの国のなかで、怪奇映画の盛んな国と全くない国とにはっきりと分かれる」という現象が生じる理由を600字～800字で説明しなさい。

資料A

野口裕二, 2018, 『ナラティブと共同性 —自助グループ・当事者研究・オープンダイアローグ—』青土社

資料B

四方田犬彦, 2011, 『アジアの文化は越境する —映画・文学・美術—』弦書房

聖心女子大学 大学院 文学研究科 < 博士前期課程 >

人間科学専攻「教育研究」領域 (英語)

2020(令和2)年度 (9月期) 入学試験問題

【問題】次頁の英文は、芸術における創造性に関する諸概念について述べたものである。本文を読み、以下の問いに答えなさい。

問1. 筆者の見解に従って“signals”、“signs”及び“symbols”の相違について説明しなさい。

問2. 下線部①と②を和訳しなさい。

(出典)

Nicholas Roukes (1982). *Art Synectics*. Davis Publications, Inc. Worcester, Massachusetts USA: pp.50-53.

聖心女子大学 大学院 文学研究科 < 博士前期課程 >
人間科学専攻「教育研究」領域 (英語) 外国人特別選抜
2020(令和2)年度 (9月期) 入学試験問題

【問題】次頁の英文は、芸術における創造性に関する諸概念について述べたものである。本文を読み、以下の問いに答えなさい。

問1. 筆者の見解に従って“signals”、“signs”及び“symbols”の相違について説明しなさい。

問2. 下線部①と②を和訳しなさい。

(出典)

Nicholas Roukes (1982). *Art Synectics*. Davis Publications, Inc. Worcester, Massachusetts USA: pp.50-53.

聖心女子大学 大学院 文学研究科 < 博士前期課程 >
人間科学専攻「教育研究」領域 (英語) 社会人特別選抜
2020(令和2)年度 (9月期) 入学試験問題

【問題】次頁の英文は、芸術における創造性に関する諸概念について述べたものである。本文を読み、以下の問いに答えなさい。

問1. 筆者の見解に従って“signals”、“signs”及び“symbols”の相違について説明しなさい。

問2. 下線部①と②を和訳しなさい。

(出典)

Nicholas Roukes (1982). *Art Synectics*. Davis Publications, Inc. Worcester, Massachusetts USA: pp.50-53.

【問題 1】

資料 1 の図 1 と図 2 は、「子どもの生活に関する調査」による放課後の小・中学校の生活の調査結果である。

- (1) これらの図から、どのようなことが読み取れるか。簡潔に説明しなさい。
- (2) (1)の中からあなたが重要だと思う点を挙げ、さらに詳細な研究を進めるとしたらどのような調査や分析を行うべきか、あなたの問題意識、仮説、調査・研究の対象、研究方法等を説明しなさい。

【問題 2】

次の用語および人名から 3 つを選び説明しなさい。また、その用語の持つ教育的背景について、重要と思うことを解説しなさい。

1. 子どもの権利条約
2. プログラミング教育
3. 幼児教育・保育の無償化
4. 教育における働き方改革
5. エミール
6. シュタイナー

【問題 3】

資料 2 の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

- (1) 資料 2 の文章を読み、解答用紙の範囲内で要約しなさい。
- (2) 資料 2 は、1998年当時の学校の状況を論じているものである。そのことを踏まえて、現在の教育改革の動向について、あなたの考えを述べなさい。

出典:

資料 1 ベネッセ教育総合研究所「第 2 回子ども生活実態基本調査報告書」, 2009

https://berd.benesse.jp/berd/center/open/report/kodomoseikatu_data/2009/pdf/data_06.pdf , pp61より抜粋

資料 2 『新装版心理学と教育実践の間で』, 佐伯胖・宮崎清孝・佐藤学・石黒広昭, 1998, pp107-110より抜粋